



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

## 持ち家派 vs 賃貸派 論争

校長 永浜 裕之

新年度を迎える4月は転居が増える時期です。そこで今回は、家を購入するべきか、借りるべきか、いわゆる「持ち家派 VS 賃貸派 論争」に関するお話しをします。

生徒の皆さんも近い将来、家を買うべきか、借りるべきか、悩む時が来ると思います。最近、リバースモーゲージやリースバックと呼ぶ、新しい形態もありますが、ここでは、話をシンプルにするために、持ち家と賃貸の二つに絞ります。

「持ち家派」は、「家賃と同程度のお金を払うならローンを組み、完済後は自分の物になったほうが良い」と考え、「賃貸派」は、「人生何が起こるか分からないし、好きな場所に住めるほうが良い」と考えます。

「持ち家派」も「賃貸派」も、それぞれメリット、デメリットがあり、どちらのほうが良いという結論は出せません。今回は、**生物学者 福岡伸一氏の著書「動的平衡」を参考に、この問題を「生物学的」に検討してみます。**

生徒の皆さんはイカを調理したことがありますか？

祖母が天ぷら屋を営んでいた関係で、私はイカをさばく様子を眺める機会に恵まれていたのですが、イカの体の中には、いわゆる「イカの皿」と呼ばれる、平たくて硬い板状の物が入っています。一見、骨のように見えますが、イカは軟体動物であり、骨は持ちません。

では、「平たくて硬い板状の物は一体何か？」という、実は「**貝殻の名残**」なのです。

今から1億年以上前、太古の海にアンモナイトという生物が生息していました。縫合線（ほうごうせん）を描く美しい化石を知っている人も多い事でしょう。巻貝のように見える**アンモナイト、実は貝ではなく、イカの祖先**なのです。あのぐるぐる模様の中身にイカのような身体をしまい、海の中を泳いでいたと考えられています。魚などの天敵がやってきて食べられそうになると、殻の中に身を隠して難を逃れていました。アンモナイトが死ぬと、海底の砂地に沈みましたが、柔らかい身体部分はすぐに分解され、硬い殻の部分だけが化石として残ったと考えられます。

世界各地、様々な場所からアンモナイトが化石として出土するので、太古の海の様々な場所で繁殖していたことが分かります。つまり、「**種（しゅ）として成功を収めていた生物だった**」と言えるでしょう。

ところが、アンモナイトは現存していません。

絶滅の理由は定かではありませんが、生物学者は、次のように説明しています。

アンモナイトは、立派な殻を維持するために、多くのエサを食べなければなりません。殻はカルシウムで作られます。体が大きくなるにつれ、殻も大きくなければなりません。エサは、小さなエビやカニといった海洋生物です。恐らく、急激な気候変動によってエサが激減したことが、絶滅の原因と考えられます。

このことから考えると、「**持ち家**」には、**大きな維持管理コストと、リスクがある**ことが分かります。

さて、急激な気候変動が起こる前、アンモナイトの一派は、多くのエサを必要とする生態とは違う方向に進化していました。殻を小さくする、または、いっそのこと殻を脱ぎ捨てる、つまり、「**持ち家をあきらめる**」方向に進化を進めました。殻を脱ぎ捨てれば、どこにでも素早く移動できるし、殻を維持するためのカルシウムもそれほど必要ではなくなります。敵に襲われると柔らかいので危険ですが、殻を捨てた分、身軽になり、狭い隙間に素早く逃げ込むことができます。

こうして、現代のイカへと進化しました。「イカの皿」は、進化の名残なのです。

つまり、**イカは「持ち家派」ではなく、「賃貸派」として生きている**ということになります。

「持ち家派」のアンモナイトが減び、「賃貸派」のイカが現存するわけですが、「持ち家派」が全くダメということではありません。

気候変動を生き延びたアンモナイトの別の一派は、**エサが豊富な浅瀬などで生息することで殻を維持する進化の方向を選びました**。それが、現在見られる多種多様な貝類です。アンモナイトに似たオウムガイも、その道を選びました。

結局、自分の特性に適した環境を選ぶことが、自分の生き方のスタイルを貫ける、ということなのかもしれません。

生徒の皆さんが、自分の生き方を模索する、充実した1年を過ごしてくれることを期待します。

この春より人事異動で着任しました経営企画室で勤務している森と申します。私は、新宿山吹高等学校を7年前に卒業しました。生徒としてお世話になったこの学校に、今度は教職員として学校を支える立場に関わることができ楽しい日々です。通っていた時の担任の先生は既に異動されていましたが、日本史や保健体育を教えてくださいました先生と再会できたことは嬉しいです。今回は卒業生として社会人として在校生の皆様にアドバイスをさせていただきます。

### ○自由について

この学校は他の学校と比較すると自由です。自由な校風に憧れて新宿山吹高校に入学した方もいらっしゃるのではないのでしょうか？学年という縛りもないので、自分のペースで時間割を作ることができるのはこの学校の魅力だと思います。自由とは自分の可能性を広げ、好きなことに挑戦してみることもできます。一方でさぼったりすることもできます。新宿山吹高校に入学したのであれば「自由」について考えてほしいです。

小中学校では、先生や保護者など大人の考えに従って行動することが多いと思います。これは高校生でもあまり変わらないと思います。しかし小中学生のときとは異なることも生じてきます。例えば、アルバイトを始めたり、原付の免許を取得したりできます。働いてお金を得るなどして行動範囲が広がると、小中学生の時より自由に行動できます。

その一方で自由な行動には責任も同時に生じてきます。高校は義務教育ではないので、単位を修得できなければ最悪の場合退学してしまいます。また最近テレビで報じられているバイトテロや交通事故を起こしてしまえば法律などの罰則を受けることもあります。

自分を律することも怠けることもできる自由な環境で、なんとなく過ごしているとあっという間に卒業を迎えてしまいます。自分は17歳の後半まであまり進路が決まっていませんでした。高校生の間に決めなければいけない訳ではありませんが、早い段階で進路を決められると自分のためになります。参考として、自分が在籍中に心がけていたことを記します。

#### 1 自分を理解する

得意分野と苦手分野、やってみたいことや目指してみたいこと等なんでもいいです（仕事でも学問でも趣味でも）。まずは自分がどのような人で何ができて何を伸ばしたい・挑戦したいのかを見つけてみましょう。それを探す時間があるのは学生の特権だと思います。

#### 2 その目標や方向性に向けて行動する

やりたいことを見つけたら実現するために行動に移しましょう。資格を取得する、体力を作る、見識を深める等、様々です。そのときの努力は違う目標になった時も役に立つかもしれません。また、目的の達成の過程ではつらいことや苦しいこともあるかもしれません。諦める前にその目標を目指したきっかけを振り返ることも大事です。

#### 3 困ったら相談する

努力をしていると当然疲れます。不安も生じるかもしれません。そんなときは抱え込むよりも周りの人（先生や保護者や親友等）に相談しましょう。私は担任や進路の先生に頻繁に相談していました。相談でなくても雑談をして気を紛らわすと疲れた心をリフレッシュできるかもしれません。

### ○ 結びに

一度過ぎてしまった時間は戻ってきません。今の時間を大切に楽しく後悔のないように高校生活を送ってください！部活や学校行事を学生として楽しめるのは今だけです。皆様が楽しい学校生活を送れるように私も頑張って働きたいと思います。

#### 定時制課程 学校行事予定

4月29日（土）昭和の日  
 5月1日（月）生徒総会、「人間と社会」講演  
 2日（火）セーフティ教室  
 3日（水）憲法記念日  
 4日（木）みどりの日  
 5日（金）こどもの日  
 16日（火）自己探索学習②  
 14日（金）授業開始  
 29日（月）中間考査時間割発表

#### 通信制課程 学校行事予定

4月29日（土）昭和の日  
 5月3日（水）憲法記念日  
 4日（木）みどりの日  
 5日（金）こどもの日  
 6日（土）スクーリング1-1、全体集会  
 13日（土）スクーリング1-2  
 20日（土）スクーリング1-3、健康診断